

2023年（令和5年） 研究業績

共同研究講座・寄付講座等名：先端予防医学・健康情報学講座

研究代表者名：内藤 俊夫・福田 洋

開設の目的・概要 等			<p>人生100年時代を迎え、がんや循環器疾患などの個人の遺伝特性と生活習慣により罹患を予測・予防できる疾患が増える中、予防医療と人間ドックのニーズが高まっている。人間ドックの受診者数は年々増加しており、一方で検査診断技術も劇的に進化し、リキッドバイオプシーや遺伝子検査など、医療健診機関を介さない疾病罹患予測も増加していくことが予想される。先端的な人間ドックについてエビデンスに基づく検査と適切なヘルスコミュニケーションにより、受診者のヘルスリテラシーを向上させることが求められている。</p> <p>本講座は、大学病院での外来・入院ドックに加えて全ゲノム遺伝子検査を含む先端的人間ドックサービスを構築し、先端予防医学・人間ドックに対するニーズ・認知度・満足度の調査、疾病・生活習慣・健康情報の関連、新規予防医学的バイオマーカーの探索、ICTを活用した継続的なフォローアップと効果的な説明方法やヘルスコミュニケーションを構築し、先端予防医学や健康情報学の発展に資する研究を行う。</p> <p>下記の教育研究を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間ドック健診データを用いた生活習慣病に関する研究 2) 先進的予防医療・人間ドックの開発に関する研究（全ゲノム遺伝子関連検査を含む） 3) 生活習慣病とヘルスリテラシー（健康情報力）・行動変容に関する研究 4) 企業の健康経営と生産性、医療費、データヘルスに関する研究 5) 女性の健康に関する疫学研究・予防プログラムの開発 	
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文原著	1		Yokokawa H, Suzuki M, Aoki N, Fukuda H, Sato Y, Hisaoka T, Naito T, Association between serum uric acid levels and achievement of target blood pressure among Japanese community residents with hypertension, J Clin Hypertens (Greenwich). 2023;25(3):295-303.	
英文原著	2		Kanamori R, Yan Y, Ito K, Fukuda H, Hori S, Yamamoto T, Igawa G, Saito K, Horiuchi Y, Nojiri S, Nishizaki Y, Tabe Y, Takahashi K, Naito T, Increased SARS-CoV-2 seroprevalence and spread of infection without awareness among healthcare workers through 2020-2022 in a Japanese medical center, Sci Rep., 2023;13(1):4941.	
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
和文原著	1		福田洋, 企業のCOVID-19対応と職域におけるヘルスリテラシー, 日本ヘルスリテラシー学会雑誌,2023; 2(1) 17-21.	
和文原著	2		信田 由佳, 福田 洋, 上田 久美子, 伊藤 佳奈美, 高柳 緑, 齋田 瑞恵, 長岡 鉄太郎, 北條 麻里子, 永原 章仁, 内藤 俊夫, 本学入職者に対するヘリコクターピロリ検診における現状と課題(会議録), 産業衛生学雑誌(1341-0725), 2023; 65臨増: 390	
和文原著	3		伊藤 佳奈美, 福田 洋, 信田 由佳, 高柳 緑, 勝田 成昌, 齋田 瑞恵, 長岡 鉄太郎, 内藤 俊夫, COVID-19の流行による医療従事者の生活習慣への影響について(会議録), 総合健診, 2023; 50(1): 167.	
和文原著	4		杉森裕樹・中山健夫座長, 立道昌幸, 原聖吾, 武藤繁貴, 高谷典秀, 福田洋, 窪寺健, 中山健夫. 特別企画1・新しい生活様式における適切な健診実施と受診に向けた研究・COVID-19の産業保健活動への影響とウイズ/アフターコロナの産業保健(会議録). 人間ドック, 2023; 38(2): 156(272)	
区分	番号		全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同

和文総説	1	江口泰正, 福田洋, 石川ひろの, 竹林正樹. ヘルスリテラシーの評価、研究、支援の新しい潮流, ヘルスプロモーション・リサーチ 2023; 15(1): 11-15	
和文総説	2	福田洋, 委員のヘルスリテラシーを高める工夫が委員会活性化と組織の健康の礎につながる. 地方公務員 安全と健康フォーラム 2023; 33(1): 12-15	
和文総説	3	福田洋, 健康格差への処方箋“ヘルスリテラシー”. ベんちのーと, 株式会社メディカル・ジャーナル 2023; 34(1):7	
区分	番号	全著者名, 書籍名, 出版社名, 出版年, ページ番号等	国際共同
和文著書	1	日本健康マスター検定第二次テキスト監修委員会, 福田洋他監修. 100年ヘルスケアバイブル I (健康マスター版), 100年ヘルスケアバイブル II (健康マスター・エキスパート版), 2023, 株式会社法研	
区分	番号	全著者名, 論文名, 掲載誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
和文症例報告	1	第46回健康教育・ヘルスプロモーション研究会, 福田洋. 学会における実践報告のススメとコツ(研究会報告). 日本産業衛生学雑誌 2023; 65(1): 51	
和文症例報告	2	第48回健康教育・ヘルスプロモーション研究会, 福田洋. デジタルヘルスリテラシーについて(研究会報告). 日本産業衛生学雑誌 2023; 65(6): 373	
区分	番号	発表者名, 発表タイトル(題目・演題・課題等), 学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	伊藤佳奈美, 福田洋, 信田由佳, 高柳緑, 勝田成昌, 齋田瑞恵, 長岡鉄太郎, 内藤俊夫. COVID-19の流行による医療従事者の生活習慣への影響について. 日本総合健診医学会 第51回大会, 東京都港区, 2023.01	
国内学会発表	2	上田 久美子, 北條 麻理子, 沖 翔太郎, 竹田 努, 伊藤 佳奈美, 赤澤 陽一, 上山 浩也, 福田 洋, 内藤 俊夫, 永原 章仁, 小児・若年者のピロリ菌対策: 今、改めて目的と期待される効果、課題を考える 本学大学生に対するHelicobacter pylori検診の実施までの取り組み(会議録), 日本ヘリコバクター学会学術集会29回, (2023.06)	
国内学会発表	3	福田洋, IUHPE (ヘルスプロモーション・健康教育国際連合) に参加する意義と楽しさ. 日本ヘルスプロモーション学会第20回学術大会・総会, 東京都北区, 2023.12	
国内学会発表	4	徳田華, 北島文子, 福田洋, 横川博英, 齋田瑞恵, 内藤俊夫. 都内大学病院人間ドックにおける遺伝学的検査導入のプロセス. 日本ヘルスプロモーション学会第20回学術大会・総会, 東京都北区, 2023.12	
国内学会発表	5	竹林正樹, 福田洋, 村上真, 吉原翔太. 宣言型健康アプリ「みんチャレ」の歩数とヘルスリテラシーへの影響. 日本ヘルスプロモーション学会第20回学術大会・総会, 東京都北区, 2023.12	
国内学会発表	6	大吉和奏, 山岡晋太郎, 村上晃満, 武田岳, 對馬啓, 堀恵大, 黒川博史, 稲垣英輔, 五十嵐章紀, 川本和江, 谷川純, 宇津木克也, 福田洋. データドリブン健康経営のための部門横断プロジェクト. 日本ヘルスプロモーション学会第20回学術大会・総会, 東京都北区, 2023.12	
国内学会発表	7	キョウ振, 田中伸吾, 鈴木圭祐, 福田洋, 里見将史, 星野克茂, 金田大介, 遠藤亨. 「Neo コーチ」における健診結果改善・ユーザー行動変容をサポートする効果の検証. 日本ヘルスプロモーション学会第20回学術大会・総会, 東京都北区, 2023.12	
区分	番号	講演者名, 講演タイトル, 学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	福田洋代表世話人, 江口泰正, 永田智久, 松葉泰昌, 伊藤佳奈美, 金森悟, 楠本真理, 坂本侑香, 白田千佳子, 高家望, 田澤美香代, 安倉沙織. 第47回健康教育・ヘルスプロモーション研究会・職域におけるナッジ×ヘルスリテラシー-2, 第96回日本産業衛生学会, 栃木県宇都宮市, 2023.05	

特別講演・招待講演	2	福田洋, キョウ振, 菊地敬二・坂田圭史郎. 日本産業衛生学会第48回健康教育・ヘルスプロモーション研究会・デジタルヘルスリテラシー, 東京都文京区 (順天堂大学/Zoomのハイブリッド開催), 2023.08	
特別講演・招待講演	3	福田 洋, シンポジウム22・慢性疾患×行動経済学～ナッジを実装したケアを考える～・行動変容におけるナッジ×ヘルスリテラシー, 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会14回, 2023.05	
特別講演・招待講演	4	福田 洋, Meet the Expert (若手の会企画)・働き盛り世代におけるヘルスリテラシーの活用, 第31回日本健康教育学会学術大会, 東京都千代田区, 2023.07	
特別講演・招待講演	5	杉森裕樹・中山健夫座長, 立道昌幸, 原聖吾, 武藤繁貴, 高谷典秀, 福田洋, 窪寺健, 中山健夫. 特別企画1・新しい生活様式における適切な健診実施と受診に向けた研究・COVID-19の産業保健活動への影響とウイズ/アフターコロナの産業保健. 第64回日本人間ドック学会学術大会, 群馬県高崎市, 2023.09	
特別講演・招待講演	6	福田洋座長, 白田千佳子, 楠本真理, 海野賀央, 竹林正樹. シンポジウム2 (職域関係)・ナッジ×ヘルスリテラシーで進める職域ヘルスプロモーション. 日本ヘルスプロモーション学会第20回学術大会・総会, 東京都北区, 2023.12	